

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

教育の諸課題に関する児童・生徒の保護者の意見や要望を把握し、「北海道教育推進計画（改訂版）」の推進管理や教育施策の改善に活用する。

### (2) 調査項目

おおむね次の項目のとおり

- (1) 学校の学力向上の取組への評価
- (2) いじめ問題への取組への評価
- (3) 学校及び教員の資質・能力や姿勢への評価
- (4) 学校と地域の連携の状況に対する評価

### (3) 調査の方法等

ア 調査対象 道内（札幌市を除く。）公立小中学校単位PTA  
（PTA会長等保護者の代表）

イ 調査件数 1,343校（小学校・義務教育学校前期課程（以下「小学校」という。）849校、中学校・義務教育学校後期課程（以下「中学校」という。）494校）

ウ 調査方法 北海道電子自治体共同システムの「簡易申請機能」並びに電子メール  
又はファクシミリで回収

エ 調査期間 平成30年1月から2月

### (4) 調査回収状況

有効回収数798件 59.4%（小学校522件、中学校276件）

	回答校数	全校数	回収率
小学校	522校	849校	61.5%
中学校	276校	494校	55.9%
計	798校	1343校	59.4%

## 2 調査結果

次頁以降に記載のとおり

### (1) 構成

各項目ごと、小学校、中学校ごとの全体の傾向及び前回調査結果との比較を掲載。  
自由記述欄の主な意見・提案に対する道教委の考え方を掲載。

### (2) 留意事項

本調査は、各単位PTAの会長等保護者の代表1名ずつから回答いただいたものであることから、必ずしも、当該学校、当該地域の総意とはなっていない場合があること。

(問1) あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか

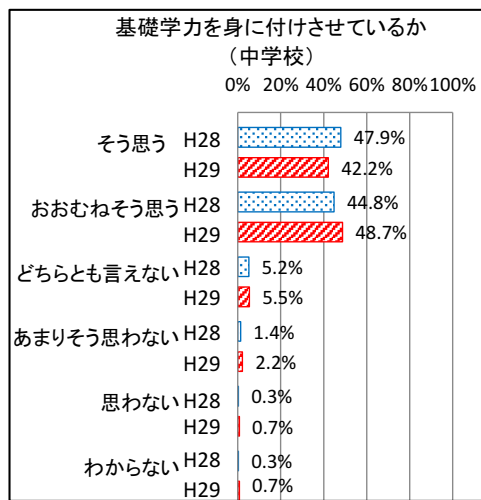
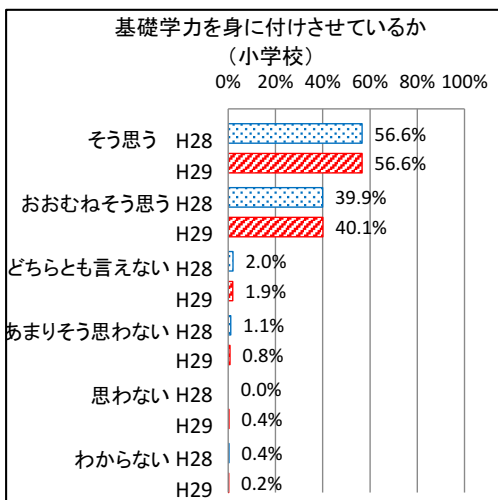
【傾向】

「あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」(56.6%)が、中学校では「おおむねそう思う」(48.7%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも9割を超える。また、「そう思う」では、小学校が中学校より14.4ポイント多くなっている。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校の「そう思う」「おおむねそう思う」の合計は、小学校はほぼ横ばいで、中学校は1.8ポイント減少している。また、「そう思う」が小学校は同率であるが、中学校は5.7ポイント減少している。

【アンケート結果】



(問2) あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか

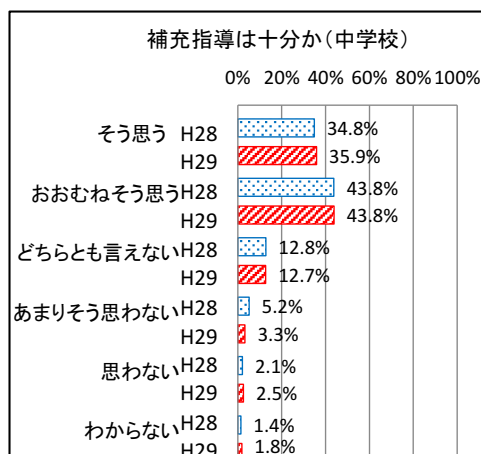
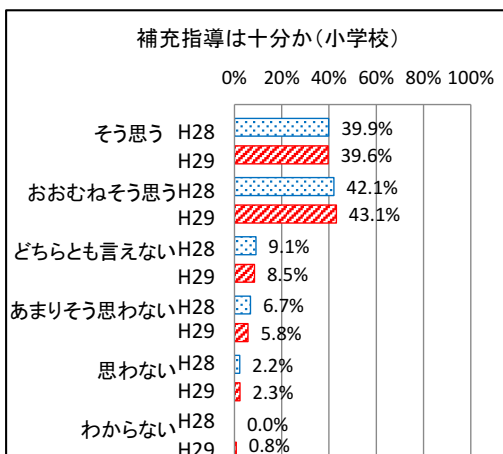
【傾向】

「あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」(小学校43.1%、中学校43.8%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも約8割となっている。

<平成28年度アンケート結果との比較>

中学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.1ポイント増加している。また、小学校、中学校とも「思わない」「あまりそう思わない」の合計が減少(小学校0.8ポイント、中学校1.5ポイント)している。

【アンケート結果】



（問3）あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか

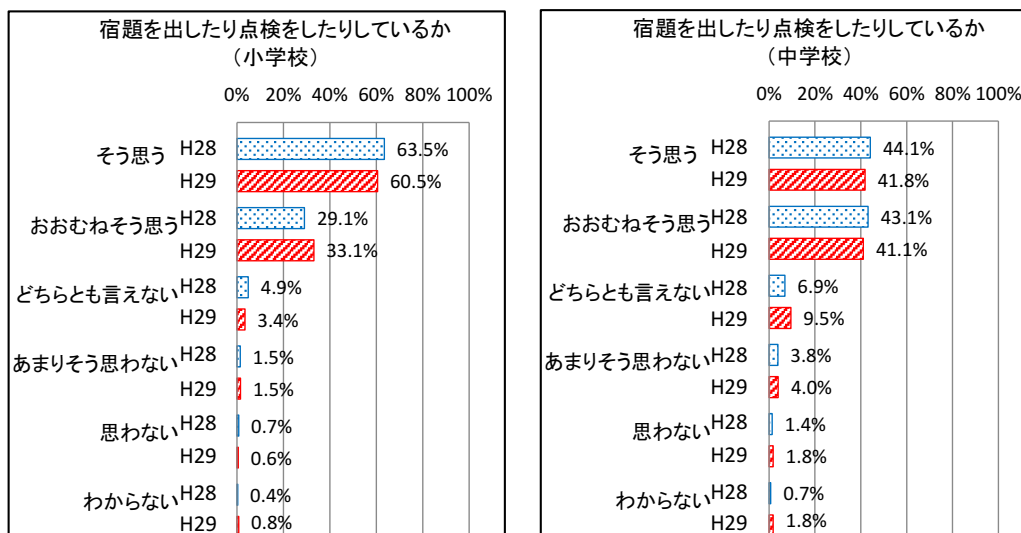
【傾向】

「あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「そう思う」（小学校60.5%、中学校41.8%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では93.6%、中学校では82.9%となる。また、「そう思う」では、小学校が中学校より18.7ポイント多くなっている。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「そう思う」が減少（小学校3.0ポイント、中学校2.3ポイント）している。

【アンケート結果】



（問4）学力向上のため、学校に取り組んでほしいことを、選んでください。【複数回答可】

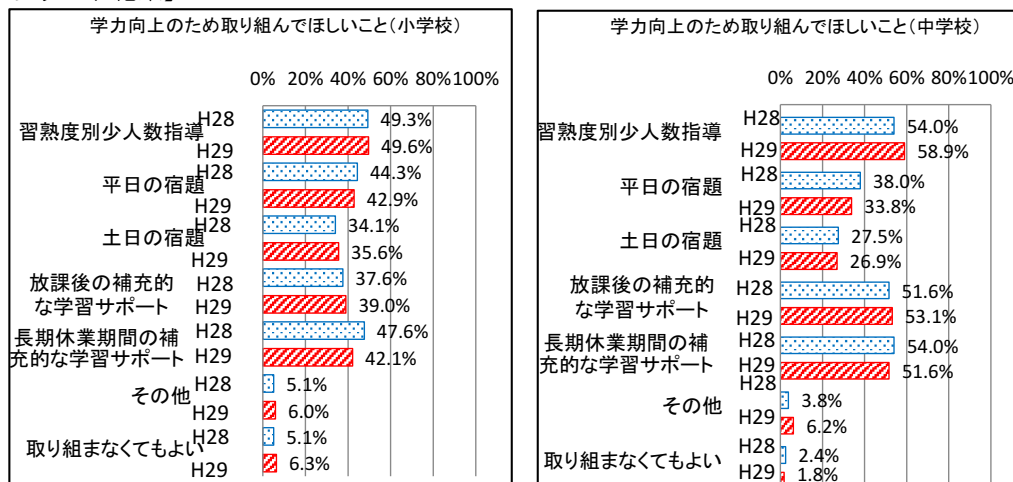
【傾向】

学力向上のため、学校に取り組んでほしいことについては、小学校では、「習熟度別少人数指導」が49.6%と最も多く、以下、「平日の宿題」（42.9%）、「長期休業期間の補充的な学習サポート」（42.1%）、「放課後の補充的な学習サポート」（39.0%）、「土日の宿題」（35.6%）となっている。中学校では、「習熟度別少人数指導」が58.9%と最も多く、以下、「放課後の補充的な学習サポート」（53.1%）、「長期休業期間の補充的な学習サポート」（51.6%）、「平日の宿題」（38.0%）、「土日の宿題」（27.5%）となっている。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「放課後の補充的な学習サポート」が増加（小学校1.4ポイント、中学校1.5ポイント）し、「長期休業期間の補充的な学習サポート」が減少（小学校5.5ポイント、中学校2.4ポイント）している。

【アンケート結果】



【問5】あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか

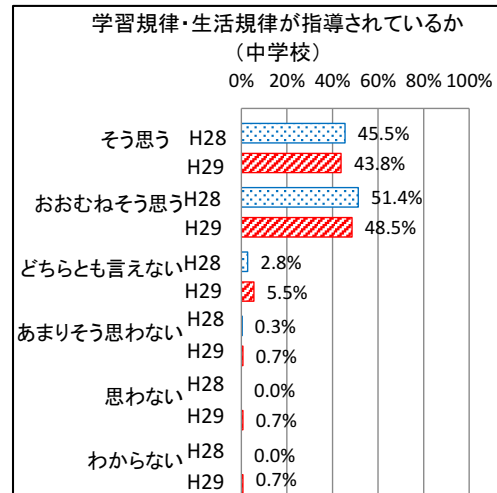
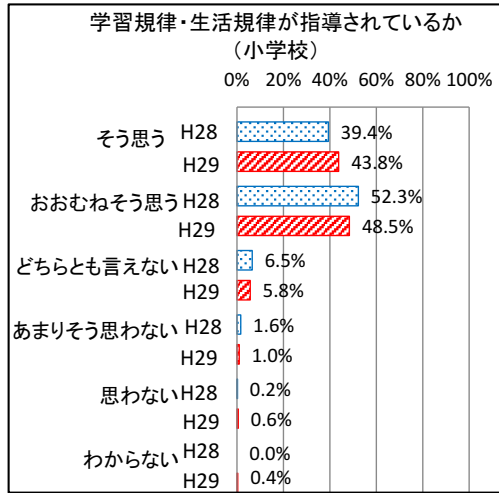
【傾向】

「あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校48.5%、中学校48.5%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも9割を超える。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校では、「あまりそう思わない」「思わない」の合計が0.2ポイント減少しているが、中学校では、1.1ポイント増加している。

【アンケート結果】



【問6】あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか

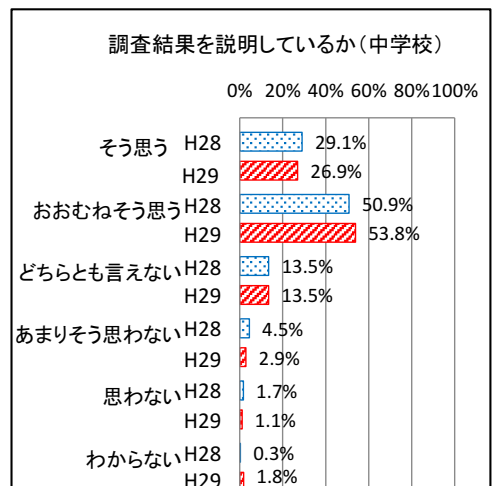
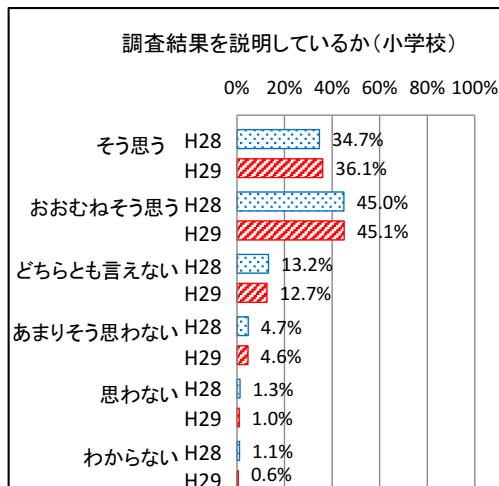
【傾向】

「あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校45.1%、中学校53.8%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも8割を超えている。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が増加（小学校1.5ポイント、中学校0.7ポイント）し、「あまりそう思わない」「思わない」の合計が減少（小学校0.4ポイント、中学校2.2ポイント）している。

【アンケート結果】



(問7) あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか

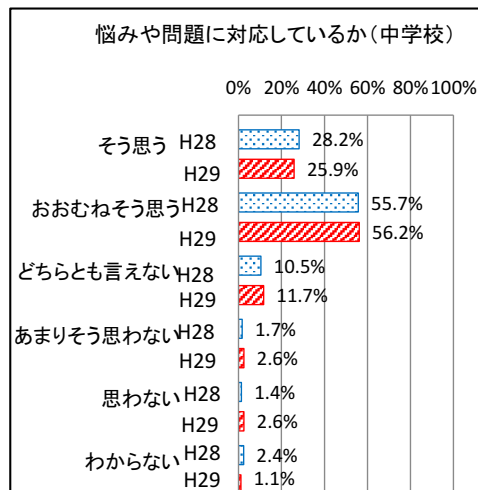
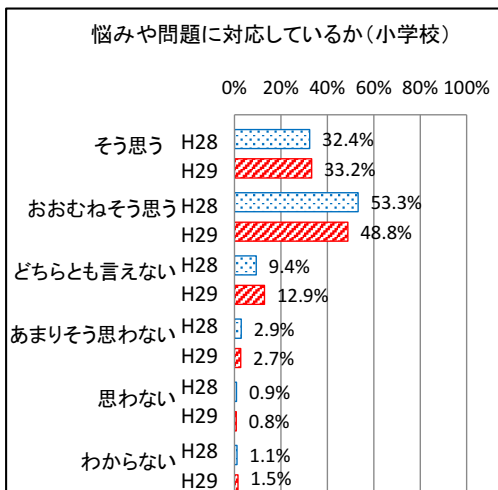
【傾向】

「あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校48.8%、中学校56.2%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では82.0%、中学校では82.1%となっている。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が3.7ポイント減少し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が0.3ポイント減少している。中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.8ポイント減少し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が2.1ポイント増加している。

【アンケート結果】



(問8) あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか

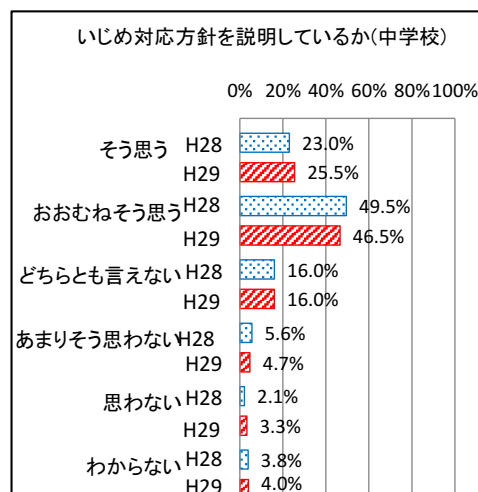
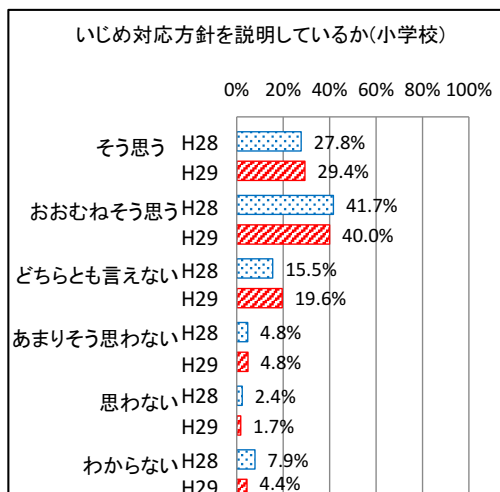
【傾向】

「あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校40.0%、中学校46.5%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校ともに約7割となっている。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも「あまりそう思わない」「思わない」の合計がほぼ横ばいとなっている。

【アンケート結果】



【問9】あなたの学校は、いじめ問題について、HPや学校通信等により、保護者にわかりやすく説明していると思いますか

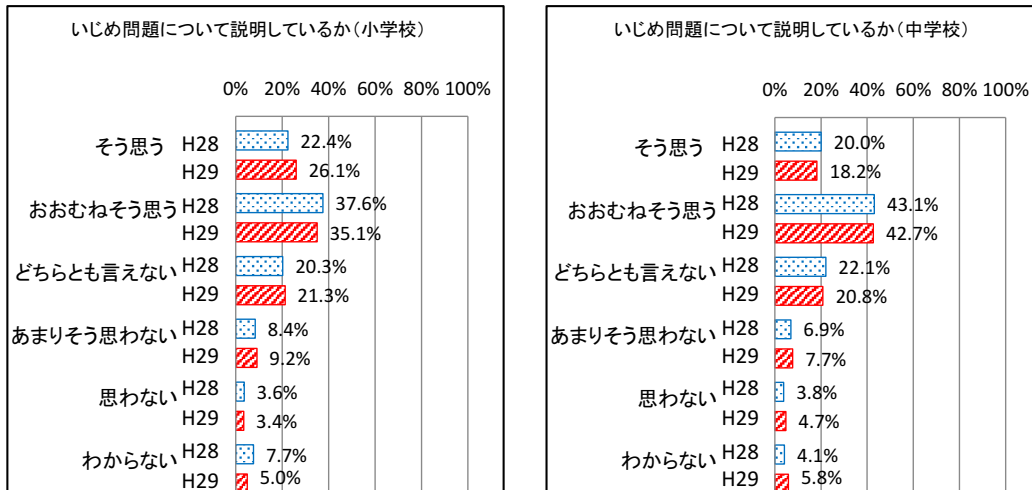
【傾向】

「あなたの学校は、いじめ問題について、HPや学校通信等により、保護者にわかりやすく説明していると思いますか」という質問については、小学校、中学校とも「おおむねそう思う」（小学校35.1%、中学校42.7%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも6割を超えている。他の項目に比して、「どちらとも言えない」や「わからない」の割合が高い。「思わない」「あまりそう思わない」の合計は、小学校で12.6%、中学校では12.4%となっている。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.2ポイント増加し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が0.6ポイント増加している。中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が2.2ポイント減少し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が1.7ポイント増加している。

【アンケート結果】



【問10】あなたの学校は、子供が使う携帯電話のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか

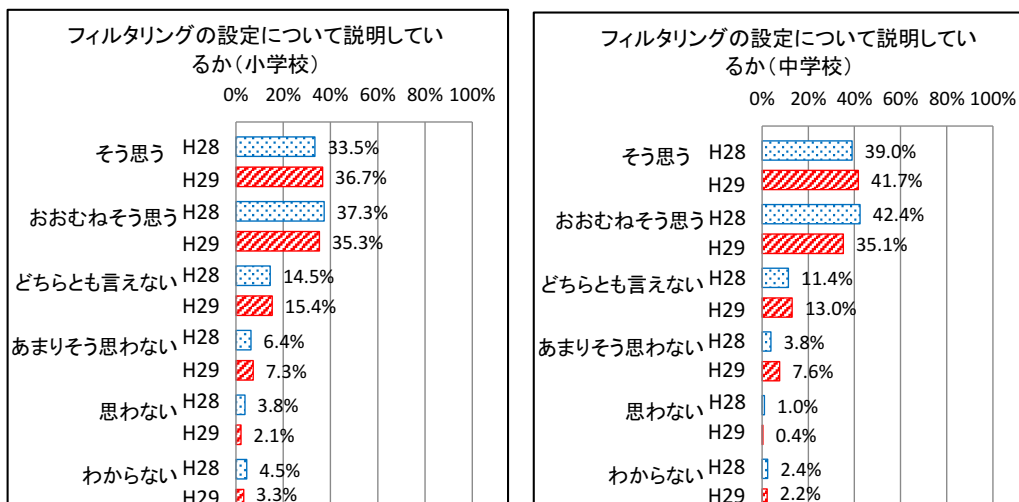
【傾向】

「あなたの学校は、子供が使う携帯電話のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか」という質問については、小学校、中学校とも「そう思う」（小学校36.7%、中学校41.7%）が最も多く、「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校で72.0%、中学校で76.8%となっている。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校では「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が1.2ポイント増加し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が0.8ポイント減少している。中学校では、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が4.6ポイント減少し、「思わない」「あまりそう思わない」の合計が3.2ポイント増加している。

【アンケート結果】



(問11) あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っているといますか

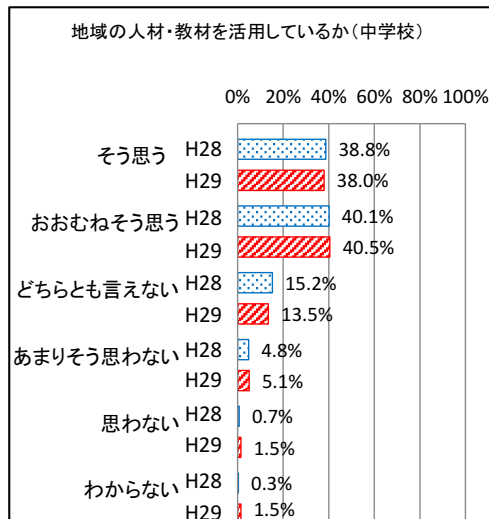
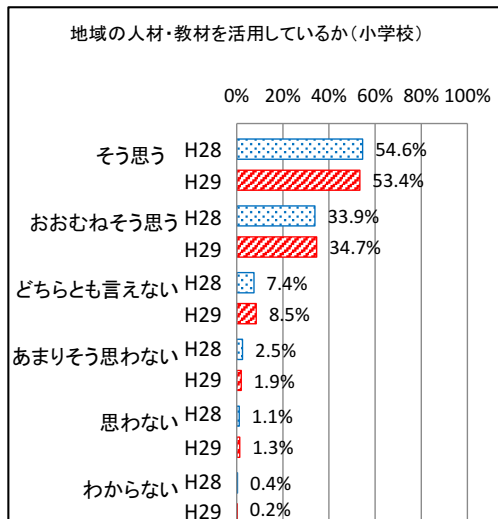
【傾向】

「あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っているといますか」という質問については、小学校では「そう思う」(53.4%)が、中学校では「おおむねそう思う」(40.5%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校では88.1%、中学校では78.5%となる。「そう思う」の割合は、小学校が中学校より15.4ポイント多い。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計がほぼ横ばいとなっている。

【アンケート結果】



(問12) あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めているといますか

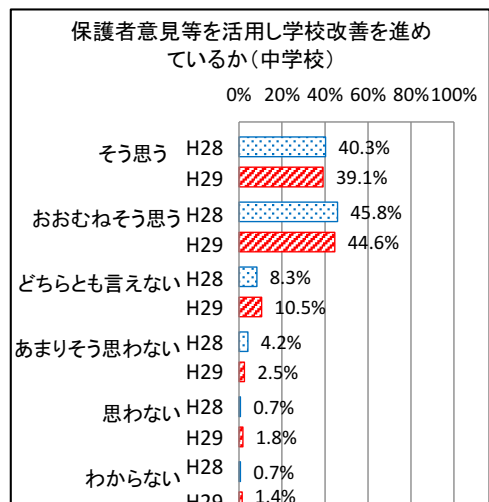
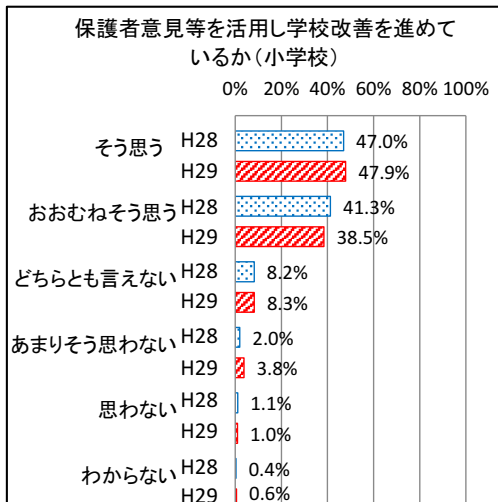
【傾向】

「あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めているといますか」という質問については、小学校では「そう思う」(47.9%)、中学校では「おおむねそう思う」(44.6%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校、中学校とも8割を超える。

<平成28年度アンケート結果との比較>

小学校、中学校とも、「そう思う」「おおむねそう思う」の合計が減少(小学校1.9ポイント、中学校2.4ポイント)している。

【アンケート結果】



**(問13) あなたの学校では、HPや学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか**

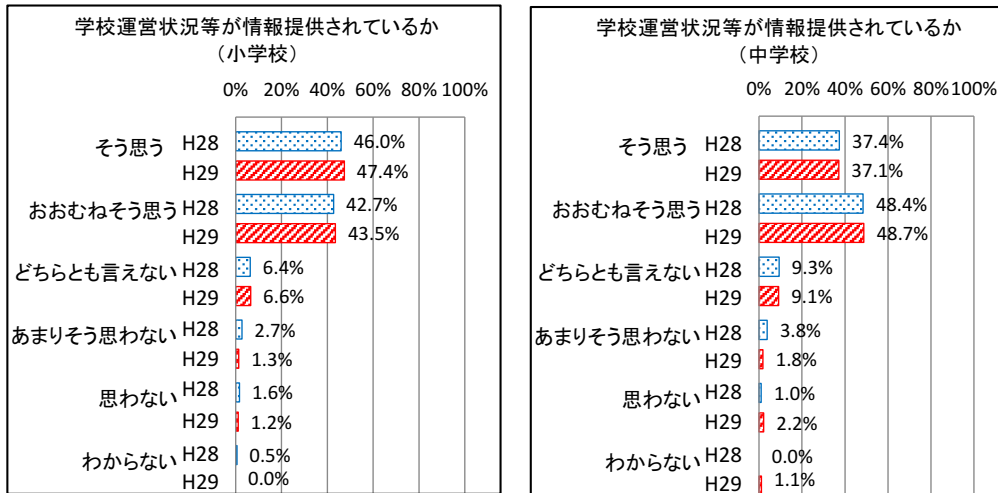
**【傾向】**

「あなたの学校では、HPや学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」(47.4%)、中学校では「おおむねそう思う」(48.7%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校は9割、中学校は8割を超える。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「思わない」「あまりそう思わない」の合計が減少(小学校1.8ポイント、中学校0.8ポイント)している。

**【アンケート結果】**



**(問14) あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていますか**

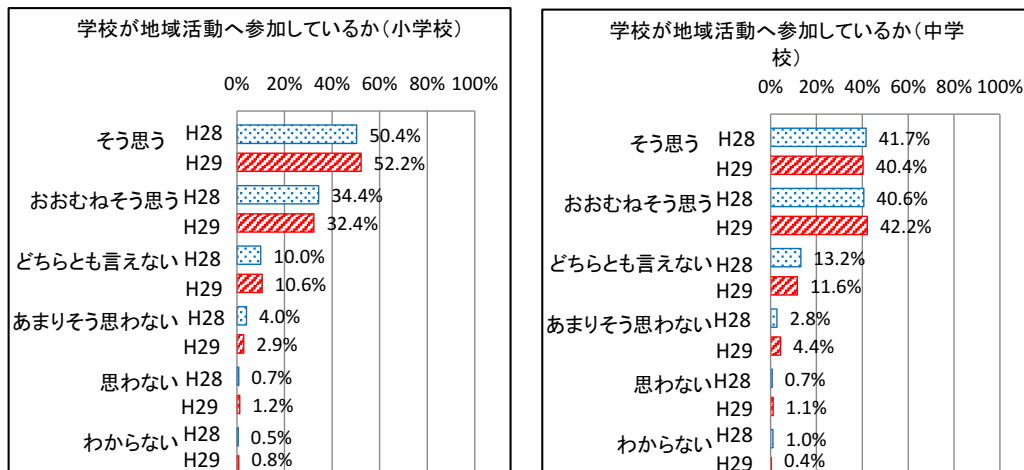
**【傾向】**

「あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていますか」という質問については、小学校では「そう思う」(52.2%)、中学校では「おおむねそう思う」(42.2%)が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校が9割、中学校は8割を超える。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計がほぼ横ばいとなっている。

**【アンケート結果】**





**(問15) あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力していると思いますか**

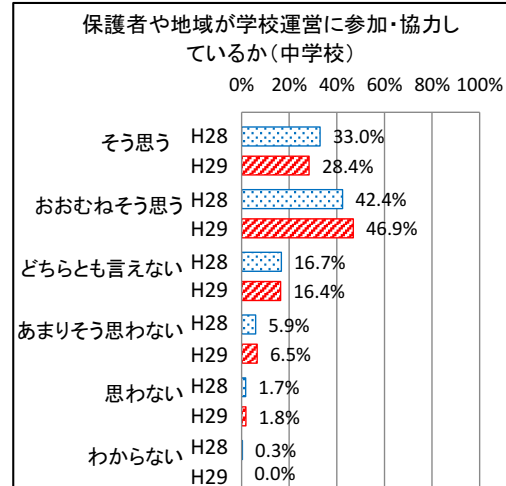
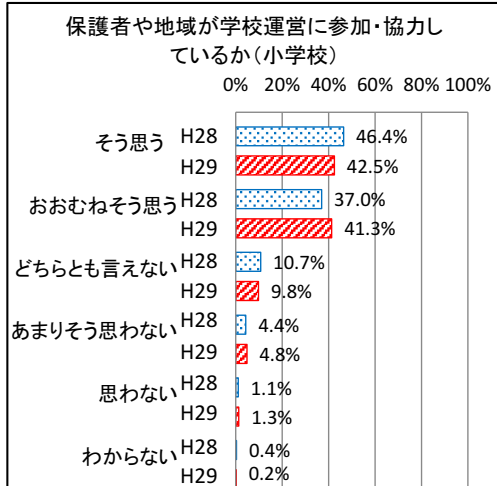
**【傾向】**

「あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力したりしていると思いますか」という質問については、小学校では「そう思う」（42.5%）が、中学校では「おおむねそう思う」（46.9%）が最も多い。「そう思う」「おおむねそう思う」を合わせると、小学校が83.8%、中学校が75.3%。また、「そう思う」では、小学校が中学校より14.1ポイント大きくなっている。

＜平成28年度アンケート結果との比較＞

小学校、中学校とも「そう思う」「おおむねそう思う」の合計、「思わない」「あまりそう思わない」の合計がほぼ横ばいとなっている。

**【アンケート結果】**



自由記述欄～学校や教育委員会へのご意見・ご要望があれば記入願います。

自由記述件数

学校や教育委員会の取組などに対し、198名の方から、延べ230件のご意見・ご提案をいただきました。  
なお、いただいたご意見・ご提案の主なものについての道教委の考え方は次のとおりです。

区分	主な意見内容	回 答
◇学力向上について		<p>土曜授業については、公立学校を設置する教育委員会が必要と認める場合に、各教育委員会の判断により実施しています。</p> <p>道教委では平成26年度から平成28年度まで、実践校におけるモデルカリキュラムの開発などに取り組み、平成29年度は、土曜授業を実践する学校の多様な事例を収集し、市町村教育委員会や学校に情報提供したところ です。</p> <p>今後もこうした取組を進め、土曜日における豊かな教育環境の一層の充実に努めてまいります。</p>
	<p>全道一斉に、小中学校の土曜授業の実施</p> <p>子ども達がやる気になるような家庭学習の取組をしてほしい 学力向上のために、放課後学習サポートがあれば良いと思います。</p>	<p>道教委では、家庭学習の習慣化を図るため、「北海道の子どもたちの健やかな成長を願って～家庭学習の習慣化を図りましょう」(改訂版)及び「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える」(改訂版)を作成し、小学校1年生の保護者に配布するとともに、北海道教育委員会ホームページに掲載しています。</p> <p>また、平成29年度からは、各管内のPTA連合会等と連携して「子どもの学力・生活習慣改善研修会」を実施し、学校・家庭・地域・行政が子どもたちの学力・体力や生活習慣に関する課題や改善の方策を共有し、地域が一体となって子どもたちを支えていく取組を推進しております。</p> <p>学力向上のための放課後学習サポートとしては、「退職教員等外部人材活用事業」により非常勤講師を配置するなど、放課後における補充学習・個別指導の充実に取り組む学校を支援しています。</p>
	<p>40人に一人の担任では、現代の子供たちを指導していくことは難しいを思いますので、20人につき1名くらいまでの基準人数引き下げと習熟別小人数指導ができる教職員の増配置をぜひとも実現してください。 学力が低いので、補習授業や小人数授業を積極的に取り入れてほしい。</p>	<p>小・中学校では、少人数指導やチームティーチングなどの指導方法の工夫改善や、いじめ、不登校など特別な配慮が必要な児童生徒への対応、発達障がい等のある児童生徒に対する特別の指導の場での障がいに応じた専門的な指導の実施などのため定数加配を行っています。</p> <p>さらに、法で定められております小学校第1学年に加え、国の加配を活用し、小学校第2学年、中学校第1学年でも少人数学級を実施しているほか、小学校の外国語活動や体育等の授業における専科指導の実施、複数の教員からなるチームによる巡回指導や、中学校における免許外教科担任の解消などに取り組んでいます。</p> <p>このように道教委では、教職員の加配により、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導が行えるよう努めているところです。</p> <p>学校において教員が子どもたち一人一人にしっかりと向き合い、きめ細かで質の高い教育を実現するためには、教職員定数の一層の改善充実が重要であると考えており、国に対して教職員定数の改善が行われるよう引き続き要望してまいります。</p>

◇不登校への対応について	回 答
<p>不登校の生徒が増えていると聞き、とても心配です。不登校になってしまう前の予防策にもっと積極的に取り組んでほしいと思います。</p>	<p>ご指摘のように、本道においても、不登校児童生徒数が増加傾向にあり、その対策が喫緊の課題となっています。</p> <p>このため、道教委では、「児童生徒理解・教育支援シート」の活用などにより、不登校の理由等を的確に把握し、早期に適切な支援等を行うよう、各学校や市町村教育委員会に対して指導助言を行うとともに、「中1ギャップ問題未然防止事業」や「高校生ステップアップ・プログラム」の実施及び成果の普及、民間施設や学校等の関係者が情報共有し協議する「不登校児童生徒支援連絡協議会」の開催、学校内外で専門的な相談や指導が受けられる窓口の積極的な周知などを通して、不登校の未然防止に向けた取組を実施してまいりました。</p> <p>道教委としては、今後とも全ての児童生徒が、安心して教育を受けることができるよう、こうした不登校の未然防止対策に積極的に取り組むとともに、学ぶ楽しさを実感できる授業づくりや、児童生徒のよさや可能性を認めるなど自己肯定感を高める取組の充実、配慮を必要とする児童生徒の情報の把握と入学・進学時における適切な引き継ぎなど、各学校の教育活動が一層充実したものとなるよう、各学校や市町村教育委員会に対する適切な指導助言に努めてまいります。</p>

◇教職員について	回 答
<p>教科の壁を越え、指導法の研修を。先生によって力量に差がありすぎるので。先生方の研修や指導準備の時間を十分に確保して欲しい</p>	<p>教職員は自立的に学ぶ姿勢を持ち、教育委員会が行う計画研修や、校内研修、個人研修など、あらゆる機会をとらえて、資質能力の向上を図ることが必要と考えております。</p> <p>こうした中、道教委では、教員の資質向上に向け、昨年12月に策定した教員育成指標も踏まえ、本年3月「北海道教員研修計画」を策定しました。</p> <p>今後は、本研修計画に基づき、教員のキャリアステージに応じて体系的かつ効果的に教員研修を実施してまいります。</p> <p>また、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修に取り組むことができるよう、研修の実施時期、実施期間、研修規模等を不断に見直すとともに、オンデマンド研修等を導入するなど、教員の負担等を考慮した効果的・効率的な研修の実施方法の改善に努めてまいります。</p>
<p>教員の仕事が多すぎ、負担がかかりすぎている。先生方の長時間労働、拘束を速やかに改善することを期待します。</p>	<p>道教委が、平成28年度に実施した教員の勤務実態調査の結果では、平成20年度に行った前回調査と比較し、依然として教職員の多忙化は解消されておらず、教員はもとより教頭の勤務時間や部活動に係る従事時間などの課題が明らかとなったところであります。</p> <p>こうした状況を踏まえ、道内全ての学校において、働き方改革を進めるため、平成30年3月に「学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』」を作成しました。</p> <p>本プランでは、1週間当たりの勤務時間が60時間を超える教員を全校種でゼロにすることを、本年度から平成32年度までの3年間の目標として設定しています。</p> <p>具体的な取組としては、スクール・カウンセラーや部活動指導員、スクール・サポート・スタッフなどの専門スタッフ等の配置促進、部活動休養日等の完全実施、学校閉庁日の設定、などの取組を各学校の実情に応じて進めるとともに、教育委員会においては、調査業務等の見直しや勤務時間等の制度改善などの取組を行い、毎年度、取組を検証し改善を図りながら、教員が本来担うべき業務に専念できる環境の整備を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>道教委としては、今回作成したアクション・プランのもと、保護者や地域の方々の理解を得ながら学校、家庭、地域、行政が一体となって、学校における働き方改革を進めてまいります。</p>
<p>今年度、校長、教頭、教員が学校の約半数かわりました。前回は、校長、教頭が一変しました。多くの先生が替わると保護者はもちろん先生方も不安に思い、そして苦勞することが多くありました。最低でも、校長、教頭が一変に替わらない様にしていただきたいです。 管理職(校長・教頭)の任期が短くないか？</p>	<p>公立小中学校の管理職の異動にあたっては、適材適所を基本として、市町村教育委員会の意見を伺いながら、学校の状況や在任期間を勘案の上、行っているところです。</p> <p>学校が地域の付託に応え特色ある教育活動を展開するためには、校長及び教頭が一定期間在任し、それぞれの地域、学校の実情・課題を的確に把握し、保護者、地域住民から強い信頼と協力を得ながらリーダーシップを発揮し、学校運営を進めていくことが大切であると考えております。</p> <p>今後とも、市町村教育委員会とも連携しながら適切な管理職人事の推進に努めてまいります。</p>

◇外国語教育について	回 答
<p>早い段階で英語教育を取り入れるよう検討すべき。</p> <p>コミュニケーションがとれる英語教育に取り組んでほしい。</p>	<p>平成32年度から実施される新学習指導要領においては、小学校第5・6学年では教科として年間70単位、また、小学校第3・4学年では新たに外国語活動が導入され年間35単位時間授業を行うこととなっており、今年度から移行期間として、全ての小学校で第5・6学年は年間50単位時間以上、第3・4学年は年間15単位時間以上の外国語活動を実施しています。</p> <p>また、児童生徒が主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うため、道教委では、道内の中学生がいずれの地域に住んでいても身近なところで英会話に繰り返し挑戦し、学習意欲を高めるEnglishトライアルを実施しております。</p> <p>さらに、今年度は、小学生が日常の生活場面で使用する英会話を体験する事業を新たに実施することとしております。</p>
◇運動部活動について	回 答
<p>学力向上も大事ですが、部活の強化も充実させてほしい。部活がしたいから勉強もガンバル。</p>	<p>学校の部活動は、少子化に伴う生徒数の減少により種目によってはチーム編成ができない状況が見られるほか、学校の小規模化に伴う教職員の減少による練習・引率等の負担の増加や、指導者の不足などの課題も生じています。</p> <p>道教委では、道内外の取組をまとめた実践事例集「運動部活動指導の工夫・改善実践事業実践概要報告書」、「効率的な部活動指導の実践～市町村教育委員会による運動部活動の支援の取組～」を作成し、市町村教育委員会、学校に情報提供を行い、部活動指導の充実に向け取り組んでいます。</p> <p>なお、これらの資料は北海道教育委員会ホームページに掲載しています。</p> <p>また、平成29年度から、中学校、高等学校等において、校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする「部活動指導員」が学校教育法施行規則に新たに規定されました。</p> <p>これを受け、道教委では、部活動指導員を中学校に配置する市町村への支援を行うとともに、道立学校に部活動指導員を配置することで、部活動の充実等の取組を推進しております。</p>
◇読書活動の充実について	回 答
<p>学校図書館に司書教諭の専属配置をしてほしい。</p>	<p>学校図書館機能の一層の充実のためには、国の新たな教職員定数の改善が必要と考えており、司書教諭の定数措置の新設について、国に要望してまいりたいと考えております。</p>

(参考)平成29年度北海道の教育に関するPTAアンケート調査表

◆ あなたが所属する単位PTAの所在する管内及び市町村名を記入するとともに、学校規模を選び、○を付してください。

※ 学級数については、特別支援学級を除いた数字としてください。

※ 小中併置校、義務教育学校及び複数校で同一単位PTAの場合等については、お手数ですが、学校種別(義務教育学校は前期課程・後期課程)ごとにご回答ください。

管内名			
市町村名			
学校規模	小学校 (義務教育学校の前期課程)	全学年の合計が5学級以下	
		全学年の合計が6～11学級	
		全学年の合計が12～18学級	
		全学年の合計が19学級以上	
	中学校 (義務教育学校の後期課程)	全学年の合計が2学級以下	
		全学年の合計が3～8学級	
		全学年の合計が9～12学級	
		全学年の合計が13学級以上	

◆ 以下の質問について、該当するものを一つ選び○を付してください。  
問4については該当すると思われるものすべてに○を付してください。  
※ 「あなたの学校」とは、学校の活動や学校の先生たちの活動の双方を含みます。

問1 あなたの学校は、読み書き計算をはじめとする基礎学力を身に付けさせていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問2 あなたの学校は、全ての子どもたちに基礎学力を身に付けさせるため、放課後や夏休み・冬休み期間に補充指導を十分行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問3 あなたの学校は、平日や週末に、宿題を出したり、宿題の点検をしたりする取組を、学校全体で行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問4 学力向上のために、学校に取り組んでほしいことを、選んでください(複数回答可)

ア	習熟度別少人数指導	
イ	平日の宿題	
ウ	土日の宿題	
エ	放課後の補足的な学習サポート	
オ	長期休業期間の補足的な学習サポート	
カ	その他( )	
キ	取り組まなくてもよい	

その他を選択した場合は、その内容を記入願います。

--

問5 あなたの学校では、学校全体として、学習規律・生活規律がしっかりと指導されていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問6 あなたの学校は、全国学力・学習状況調査の結果を、保護者にわかりやすく説明していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問7 あなたの学校は、児童生徒の悩みや問題に適切に対応していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問8 あなたの学校は、いじめが発生した場合の対応方針などを保護者にわかりやすく説明していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問9 あなたの学校は、いじめ問題について、ホームページ(HP)や学校通信等により、保護者にわかりやすく情報提供していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問10 あなたの学校は、子どもが使う携帯電話等のフィルタリングを設定するよう、保護者に説明したり資料を配付したりしていますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問11 あなたの学校は、地域の人材や教材を生かした教育活動を積極的に行っていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問12 あなたの学校では、保護者の意見等を参考に学校評価を行い、積極的に学校改善を進めていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問13 あなたの学校では、ホームページ(HP)や学校通信等により日常の学校運営の状況が、わかりやすく保護者や地域へ提供されていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問14 あなたの学校は、地域活動に積極的に参加し、地域社会との連携を深めようとしていると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

問15 あなたの学校では、保護者や地域の方々が、学校運営に積極的に参加したり協力していると思いますか

そう思う	
おおむねそう思う	
どちらとも言えない	
あまりそう思わない	
思わない	
わからない	

【自由記述欄】

- ◆ 学校や教育委員会へのご意見・ご要望があれば記入願います。
- ※ 上記問1～15に関連するご意見・ご要望については、次の欄に記載願います。
- 例)○○という理由から○○を充実させてほしい(問1)、○○のような取組があれば良い(問4)

--